

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月28日

上場取引所 東

上場会社名 田辺工業

コード番号 1828 URL <http://www.tanabe-ind.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 四月朔日 義雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼専務執行役員 事務部長 (氏名) 小野 彰

TEL 025-545-6500

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	18,286	5.2	1,186	6.6	1,203	9.3	687	11.9
21年3月期第3四半期	17,377	—	1,112	—	1,101	—	614	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	128.47	—
21年3月期第3四半期	114.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	18,890	9,272	49.1	1,732.88
21年3月期	21,038	8,655	41.1	1,617.56

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 9,272百万円 21年3月期 8,655百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	24.00	24.00
22年3月期	—	0.00	—		
22年3月期 (予想)				20.00	20.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,800	△5.9	900	△44.5	900	△43.7	550	△48.1	102.79

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 —社 (社名) 除外 —社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 5,364,000株 21年3月期 5,364,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 13,120株 21年3月期 13,120株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 5,350,880株 21年3月期第3四半期 5,350,880株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成21年5月14日発表の通期連結業績予想は修正していません。本資料に記載している業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、本予想に関する事項は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部で改善の動きが見られたものの、急激な為替変動や景気の停滞により雇用情勢や個人消費の改善が進まず、デフレ圧力が強まり、引き続き厳しい状況が続いております。

設備工事業界におきましては、設備投資に回復の兆しは見え、業者間の受注競争は依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような状況下で当社グループは、プラント設備の他、設備投資が比較的好調な業種、あるいは、太陽電池関連設備等の機械装置分野に営業の拡大を図ってまいりましたが、受注高は14,530百万円（前年同期比36.6%減）と前年を大幅に下回りました。売上高は前期に受注していた大型工事物件の完成が寄与し、18,286百万円（前年同期比5.2%増）となりました。

利益面につきましては、増収により売上総利益が前年同期と比較し46百万円増加したため、営業利益1,186百万円（前年同期比6.6%増）、経常利益1,203百万円（前年同期比9.3%増）、四半期純利益687百万円（前年同期比11.9%増）となりました。

当第3四半期のセグメント別では、設備工事業は、前年同期と比較し設備投資減少の影響を受け、受注高は13,937百万円（前年同期比36.0%減）となりましたが、前期からの繰越工事の完成により、売上高は17,688百万円（前年同期比8.8%増）、営業利益は増収により1,545百万円（前年同期比20.9%増）となりました。タイ国で展開しております表面処理事業は、景気悪化の影響を受け、自動車関連部品のメッキラインの生産が大幅に落ち込み、また、為替の影響を受け、売上高459百万円（前年同期比42.5%減）、営業利益51百万円（前年同期比71.7%減）となりました。その他の事業も、国内の自動車部品業界の落ち込みにより、売上高138百万円（前年同期比56.7%減）、営業損失31百万円（前年同期比151.4%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

（総資産）

当第3四半期連結会計期間末の総資産は18,890百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,147百万円減少しました。

（流動資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は14,002百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,627百万円減少しました。主に大型工事物件の完成に伴う未成工事支出金の減少によるものであります。

（固定資産）

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は4,888百万円となり、前連結会計年度末に比べ480百万円増加しました。

（流動負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は8,190百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,257百万円減少しました。主に未成工事受入金の減少によるものであります。

（固定負債）

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は1,428百万円となり、前連結会計年度末に比べ493百万円増加しました。主に長期借入金の増加によるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は9,272百万円となり、前連結会計年度末に比べ617百万円増加しました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の41.1%から49.1%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,613百万円減少し1,870百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」

税金等調整前四半期純利益が1,195百万円、未成工事支出金の減少等による収入がありましたが、売上債権の増加、仕入債務の減少、未成工事受入金の減少等による支出が多く、営業活動によるキャッシュ・フローは1,289百万円の支出（前年同四半期比40.8%減）となりました。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」

有形固定資産の取得による支出等により、32百万円の支出（同88.3%減）となりました

「財務活動によるキャッシュ・フロー」

長期借入れによる収入がありましたが、短期借入金の減少が多く、302百万円の支出（前年同期は1,706百万円の収入）となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、第3四半期までは予想を上回る実績で推移しました。しかし、これから期末に向け、低粗利工事物件が完成になるため、現時点で見直しを行うのは時期尚早であると判断し、平成21年5月14日発表の業績予想（決算短信）から修正しておりません。今後の受注動向、完成工事の見極めができ次第、見直しを行う必要があると判断した場合は、見直しを行う予定です。

（注）上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

4. その他

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

（2）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を当第1四半期連結会計期間より適用し、当第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、当第3四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準（工事の進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,482,642千円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ115,650千円増加しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,709,205	3,484,609
受取手形・完成工事未収入金等	9,272,677	8,100,072
有価証券	161,516	—
未成工事支出金	2,355,401	4,488,523
その他のたな卸資産	164,719	189,015
繰延税金資産	300,674	300,665
その他	42,721	76,954
貸倒引当金	△4,247	△9,184
流動資産合計	14,002,669	16,630,655
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,328,027	3,182,205
機械、運搬具及び工具器具備品	1,933,343	1,837,965
土地	1,452,343	1,481,675
リース資産	46,989	23,496
建設仮勘定	461,595	32,622
減価償却累計額	△3,193,678	△3,006,394
有形固定資産合計	4,028,620	3,551,570
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	376,264	332,437
繰延税金資産	276,761	296,734
その他	138,705	154,774
貸倒引当金	△27,926	△28,274
投資その他の資産合計	763,804	755,672
固定資産合計	4,888,181	4,408,006
資産合計	18,890,851	21,038,662
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	2,800,518	3,912,117
短期借入金	1,360,100	2,044,500
リース債務	9,045	4,934
未払金	1,832,989	1,505,402
未払費用	241,947	256,654
未払法人税等	200,952	299,077
未成工事受入金	1,084,468	2,691,591
完成工事補償引当金	26,422	24,010
工事損失引当金	29,000	—

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
賞与引当金	298,244	623,484
役員賞与引当金	30,000	60,000
その他	276,503	26,316
流動負債合計	8,190,192	11,448,089
固定負債		
長期借入金	535,050	19,500
リース債務	31,902	16,208
退職給付引当金	654,950	668,913
役員退職慰労引当金	206,330	230,566
固定負債合計	1,428,234	935,187
負債合計	9,618,426	12,383,277
純資産の部		
株主資本		
資本金	885,320	885,320
資本剰余金	1,475,320	1,475,320
利益剰余金	7,268,811	6,709,784
自己株式	△6,485	△6,485
株主資本合計	9,622,965	9,063,938
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	27,625	5,914
為替換算調整勘定	△378,166	△414,467
評価・換算差額等合計	△350,540	△408,553
純資産合計	9,272,424	8,655,385
負債純資産合計	18,890,851	21,038,662

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	17,377,912	18,286,423
売上原価	14,569,312	15,431,701
売上総利益	2,808,599	2,854,722
販売費及び一般管理費	1,696,361	1,668,721
営業利益	1,112,238	1,186,000
営業外収益		
受取利息	3,892	2,559
受取配当金	6,381	5,412
受取地代家賃	22,694	22,443
その他	24,626	20,617
営業外収益合計	57,594	51,033
営業外費用		
支払利息	17,366	15,415
債権売却損	11,731	3,655
コミットメントフィー	7,900	7,859
投資有価証券評価損	29,130	—
その他	2,386	6,353
営業外費用合計	68,514	33,284
経常利益	1,101,317	1,203,749
特別利益		
貸倒引当金戻入額	5,877	5,284
固定資産売却益	—	7,911
役員退職慰労引当金戻入額	—	8,030
特別利益合計	5,877	21,226
特別損失		
固定資産処分損	3,039	2,117
固定資産売却損	621	350
投資有価証券評価損	26,090	999
たな卸資産評価損	10,915	—
過年度関税等支払額	—	25,536
その他	70	170
特別損失合計	40,736	29,174
税金等調整前四半期純利益	1,066,458	1,195,800
法人税等	451,986	508,352
四半期純利益	614,472	687,447

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,066,458	1,195,800
減価償却費	204,632	199,365
投資有価証券評価損益 (△は益)	55,220	△6,355
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5,877	△5,284
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△312,592	△355,239
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△3,777	△38,198
完成工事補償引当金の増減額 (△は減少)	2,485	2,411
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	20,000	29,000
受取利息及び受取配当金	△10,274	△7,971
支払利息	17,366	15,415
為替差損益 (△は益)	7,950	2,306
有価証券売却損益 (△は益)	—	△161
投資有価証券売却損益 (△は益)	△292	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	621	△7,560
その他の損益 (△は益)	1,014	4,601
固定資産廃棄損	373	2,117
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,095,877	△1,166,651
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	△3,613,036	2,136,440
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△364	23,218
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△104,856	34,178
仕入債務の増減額 (△は減少)	721,679	△1,341,535
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	1,771,800	△1,607,123
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△51,685	209,249
小計	△1,329,032	△681,976
利息及び配当金の受取額	10,274	7,971
利息の支払額	△17,182	△14,272
法人税等の支払額	△839,809	△600,794
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,175,750	△1,289,072
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△16	△53,600
有価証券の売却による収入	19,986	53,761
有形固定資産の取得による支出	△238,832	△77,136
有形固定資産の売却による収入	1,404	39,290
無形固定資産の取得による支出	△7,746	△3,479
投資有価証券の取得による支出	△51,286	△2,245
投資有価証券の売却による収入	353	—
貸付けによる支出	△1,200	—
貸付金の回収による収入	479	374
保険積立金の解約による収入	—	13,158

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
その他	△2,244	△2,668
投資活動によるキャッシュ・フロー	△279,102	△32,543
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,920,000	△800,000
長期借入れによる収入	—	700,000
長期借入金の返済による支出	△86,362	△70,050
配当金の支払額	△127,146	△127,123
リース債務の返済による支出	—	△4,862
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,706,491	△302,036
現金及び現金同等物に係る換算差額	△59,725	9,765
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△808,086	△1,613,886
現金及び現金同等物の期首残高	2,387,853	3,484,609
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,579,766	1,870,722

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

「参考資料」

受注の状況

(単位：千円)

区分	前年同四半期 (平成21年3月期 第3四半期)	第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	増減	増減率%
設備工事業 産業プラント設備工事	10,038,482	5,597,102	△4,441,379	△44.2
設備保全工事	5,387,084	3,688,981	△1,698,103	△31.5
電気計装工事	4,129,073	2,977,058	△1,152,015	△27.9
送電工事	1,073,562	786,756	△286,806	△26.7
管工事	1,153,126	887,849	△265,277	△23.0
小計	21,781,330	13,937,747	△7,843,582	△36.0
表面処理事業	799,527	459,506	△340,020	△42.5
鑄造用工業炉	329,615	133,306	△196,309	△59.6
合計	22,910,472	14,530,560	△8,379,912	△36.6